

わになって・みんなポカポカ・大鰐町

広報 おおわに

10月号
令和5年
(2023年)
No.741



今月のおもな内容

- ◇ まちの話題など 2～3
- ◇ まちのお知らせ 4～15
- ◇ こちら警察・消防! 16
- ◇ 月替わりの掲載コーナー 18
- ◇ おおわにかわら版 20
- ◇ 津軽広域連合だより 21
- ◇ 3歳児健診 むし歯のない子 22



第19回大鰐町長寿福祉祭が開催されました

9月5日（火）に大鰐町総合福祉センターにおいて、第19回大鰐町長寿福祉祭が開催されました。

長寿福祉祭では、長寿番付の横綱・大関の方や90歳の卒寿を迎えられた方、金婚を迎えられた方々を表彰しました。町長から「健康長寿宣言をした本町にとって、表彰を受けられた皆様は、大きな財産であり、町民の素晴らしい模範です。」とあいさつがありました。

また、祭典では、敬老作文やアトラクションなども行われ、出席された方々をお祝いしました。

ICカード「メゴイカ」の体験会を行いました

9月1日（金）、地域交流センター「鰐 come」において、弘南バスを料金精算で使える地域連携ICカード「MegoiCa（メゴイカ）」の利用体験会が開催されました。

メゴイカは、大鰐町を含む津軽圏域14市町村と青森市を走る弘南バス全路線で使えるICカードで、利用者はコンビニなどで事前にチャージ（入金）し、バス乗降時に読み取り端末にカードをタッチすればスムーズに支払いができます。

利用体験会の参加者は、「使いやすくて、とても便利」とメゴイカの利便性に満足した様子でした。



大鰐小学校
4年生のみなさん



大鰐中学校
2年生のみなさん

認知症サポーター養成講座を行いました

7月5日大鰐小学校4年生34名、7月13日大鰐中学校2年生40名を対象に認知症サポーター養成講座を行いました。講座では認知症キャラバン・メイト（認知症サポーター養成講座の講師）から認知症についての講義を受けたほか、認知症の方への対応について寸劇を通して学び、認知症サポーターの証として、認知症の方への接し方が記載された認知症サポーターカードが渡されました。

青森県民駅伝競走大会が開催されました

第30回青森県民駅伝競走大会が9月3日、4年ぶりとなる市街地コースで開催されました。青森県観光物産館アスパム前（青森市）をスタートし、全9区間（26・1キロメートル）の総合タイムを競いました。

大鰐町の総合タイムは1時間29分44秒で、市町村総合12位、町の部4位入賞という成績を収めました。

また、第4区走者の（5・0キロメートル）三浦光司さんが15分35秒、第5区走者の（3・4キロメートル）木田陸仁さんが11分35秒と、町の部で区間第二位となる素晴らしい走りをしました。

●大鰐町選手団

【監督】植田善久【コーチ】山口純矢、渡邊時則【第1区】後藤歩【第2区】山口健心【第3区】間形玲那【第4区】三浦光司【第5区】木田陸仁【第6区】福士愛香【第7区】佐藤真斗【第8区】山田琴都【第9区】阿保貴也【補欠】佐藤冨彪、水木良、森山雄一朗、岩澤瑛斗、須藤快、外崎柊介、長利菜々美、間形侑那、伊藤椿

住民参加型まちづくり事業に採択されたイベントが開催されました！



わあんどすとリーとが開催されました

ワンダーワンド企画によるマルシェイベント「わあんどすとリーと」が9月17日に手古奈通りとゆけむり通りで開催されました。

通りには、空き店舗を活用した出店やパン作り体験など幅広いジャンルのお店が並びました。

通りには、たくさんの方が歩いていて、イベント参加者からは「大鰐の中心街に、たくさん集まってくれて嬉しい」「この光景が夢のようだ」などと話していました。

阿闍羅ママチャリGP2023が開催されました

9月17日に第2回となる「阿闍羅ママチャリGP2023」が開催となり、町内外から集まった9チームが参加しました。

1チーム約6名がリレー方式で3時間走り続けるルールとなっており、幅広い年齢層の選手が参加しました。

スタートと同時に会場には歓声が湧き上がり、選手たちは苦しそうな顔を浮かべながらも、全力で疾走していました。レース終了後には、選手同士が健闘を称え合い、「来年度も参加しよう」という声も多数聞かれました。



全9チーム総勢54名の参加者

1周約2kmのコース



インフルエンザ予防接種費用助成について

町では、インフルエンザの予防と重症化を防ぐため、インフルエンザ予防接種費用の一部を助成します。

対象は、子育て世代の経済的負担軽減と集団生活でのまん延を防ぐ必要のある年代及び定期予防接種対象の高齢者等に助成をします。

●**助成対象** 大鰐町に住民登録があり、次のいずれかに該当する方

①生後6か月以上19歳未満（平成17年4月2日以降に生まれた方：高校3年生相当まで）

②妊婦

③65歳以上及び60歳以上65歳未満であって心臓、腎臓、呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、身体障害者1級に該当

●**接種料金** 医療機関ごとに異なります。各医療機関へお問い合わせください。

●**助成額** 1回3,000円（生後6か月～13歳未満は2回、13歳以上は1回助成）

※接種料金が助成額を超える場合は自己負担となりますので、医療機関にお支払いください。

接種料金が助成額を超えない場合は、接種料金が助成額となります。

ただし、③に該当する方のうち生活保護受給者は、全額助成されます。

●**指定医療機関** 町内医療機関及び南黒医師会医療機関（黒石市・平川市・藤崎町・田舎館村・青森市浪岡）、弘前市医療機関で実施できます。

【町内医療機関】

・町立大鰐診療所 ☎48・2211 ・おおわに内科クリニック ☎47・7111 ・小山内医院 ☎48・2415
・ゆのかわら医院 ☎47・6611

※直接医療機関に予約が必要です。

※その他医療機関に関しては、大鰐町ホームページを参照していただくか、保健福祉課健康推進係にお問い合わせください。

●**助成期間** 令和5年10月1日～令和6年1月31日

※医療機関によって、接種開始日が異なりますので、必ずご確認ください。

●持参するもの

健康保険証や運転免許証など身分を証明できるもの
場合により次のものをご持参ください。

- ・母子健康手帳（乳幼児・妊婦）
- ・身体障害者手帳（60歳以上65歳未満であって心臓、腎臓、呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、身体障害者手帳1級に該当する方）。
- ・医療受給証（生活保護を受給している方）

●**その他** 指定医療機関以外等で接種し、料金を支払った場合は、領収書（予防接種名及び接種日が確認できるもの）、振込先口座の通帳をご持参の上、保健福祉課⑧番窓口へお越しください。

申請期限は令和6年2月29日（木）です。

■**お問合せ** 保健福祉課健康推進係 ☎55・7149（直通）

令和5年度排水設備工事配管工認定講習 【責任技術者・配管工更新講習の実施案内について】

青森県下水道協会による「令和5年度排水設備工事配管工認定講習及び責任技術者・配管工更新講習」が実施されます。

●**講習日** 令和6年1月16日（火）～1月26日（金）

●**講習当日受付**

講習開始時刻の30分前から5分前まで

●**講習会場**

【**配管工認定講習**】青森市、弘前市、八戸市の3会場より選択

【**責任技術者更新講習**】青森市、弘前市、八戸市、五所川原市、むつ市、十和田市の6会場より選択

【**配管工更新講習**】青森市、弘前市、八戸市、五所川原市、むつ市の5会場より選択

●**試験手数料（振込手数料は別途必要）**

【**配管工認定講習**】 7,000円

【**責任技術者更新講習**】 7,000円

【**配管工更新講習**】 5,000円

●**申込受付日**

令和5年11月7日（火）～11月30日（木）
（土・日、祝日を除く）

■**お問合せ・お申込み**

建設課下水道係 ☎55・6594（直通）

複合検診のお知らせ

今年度の6月と7月の複合検診が終了しました。受診予定だったものの用事があった、申込みのを忘れていた等で受けられなかった方に対して、次のとおり検診を行います。検診を受けたい方は、お申込みくださるようお願いいたします。

●日 程 令和5年11月28日（火）、29日（水）、
11月30日（木）

●受付時間 午前7時～9時30分

●検診場所 大鰐町地域交流センター「鰐 come」

●料 金 無料

●申込方法

希望日の1週間前までに、下記の方法でお申込みください。

①保健福祉課8番窓口

②電話

③インターネット

下記二次元バーコードから24時間受付

【二次元バーコード】



※既に6、7月に複合検診を受診した方、人間ドックまたは医療機関等で受診した方は受けることができません。

■お問合せ・お申込み

保健福祉課健康推進係 ☎55・7149（直通）

●検診内容等

検診名	内 容	対象者
特定健康診査	身体計測 診察 血圧測定 尿検査 血液検査 心電図検査 眼底検査	●40～74歳（S59.3.31までに生まれた方）で 大鰐町国民健康保険加入者 ●後期高齢者医療保険加入者 ●40歳以上の生活保護受給者
基本健康診査	特定健康診査と同様	30～39歳の方（S59.4.1～H6.3.31生まれの方）
胃がん検診	バリウムによる検査	40歳以上（S59.3.31までに生まれた方） ※肺がん検診を65歳以上の方が受ける際には、結核健診を兼ねています。
大腸がん検診	便を2日分採便セットに採取し持参	
肺がん検診・結核健診 ※	胸部レントゲン検査	
肝炎ウイルス検査	採血によるウイルス検査	30歳以上で今までに肝炎ウイルス検査を受けたことがない方

*年齢は令和6年3月31日時点の年齢です。

子宮頸がん・乳がん検診（個別検診）を受けましょう

都合の良い時期に受診ができるよう、医療機関での個別検診を実施しています。受診には町が発行する受診券が必要となりますので、5月下旬に送付した受診券を指定医療機関に提出くださるようお願いいたします。なお、受診券を紛失された方はご連絡ください。

対象となる方で今年度受診しない場合には、受診間隔が2年間あくことになりますのでご注意ください。

●検診及び対象者

検診名	検診内容	対象者
子宮頸がん検診	問診、視診、内診、細胞診	・20歳以上の女性 （平成16年3月31日以前に生まれた方で、令和6年3月31日時点で偶数年齢に達する方）
乳がん検診	問診、マンモグラフィ（乳房X線検査）	・40歳以上の女性 （昭和59年3月31日以前に生まれた方で、令和6年3月31日時点で偶数年齢に達する方）

●実施期間 令和6年3月31日まで

●検診料金 無料

※卵巣超音波検査や追加検査等を実施する場合は別途料金がかかります。（検診とは別日に追加検査等を実施する場合がありますので、予約時にご確認ください。）

●指定医療機関

①子宮頸がん検診（弘前市内12医療機関、南黒地区2医療機関）

②乳がん検診（弘前市内4医療機関、南黒地区1医療機関）

●受診方法 指定医療機関に申し込み、受診券を持参して受診してください。

※既に集団検診を受けた方は、個別検診は受けられません。

■お問合せ・お申込み

保健福祉課健康推進係 ☎55・7149（直通）

住民生活課窓口へお越しの際は必ず本人確認書類をご持参ください

「住民票」や「戸籍証明書」等を交付する際に、個人情報保護となりすましによる不正取得防止のため、窓口にお越しの方の本人確認を行っております。

本人確認書類がない場合は住民票等の交付をお断りしておりますので、窓口へお越しの際は必ず本人確認書類をご持参くださるようお願いいたします。

特に印鑑証明書は、「**印鑑登録証（カード）**」がなければ交付ができませんのでご注意ください。

●本人確認書類の例（有効期限内のものに限る）

顔写真が付いているもの ※いずれか1つを持参	マイナンバーカード、運転免許証、運転経歴証明書（平成24年4月1日以降発行のもの）、旅券（パスポート）、障害者手帳
顔写真が付いていないもの ※いずれか2つを持参	健康保険被保険者証、後期高齢者医療被保険者証、介護保険被保険者証、医療費受給資格証、年金手帳、年金証書、学生証、生活保護受給者証

●委任状が必要な場合

窓口に来る方が次に該当する場合、申請者（使う方）からの委任状が必要です。

住民票	申請者、申請者と同じ世帯以外の方 ※世帯分離をしているときは親子でも委任状が必要です。
戸籍謄抄本等	申請者、申請者の配偶者、申請者の直系親族（父母、祖父母、子、孫）以外の方
身分証明書	申請者以外の方
印鑑の登録	申請者以外の方 ※印鑑証明書は、印鑑登録証（カード）を提示すれば代理人でも委任状不要。

※委任状の用紙は、窓口でお渡ししているほか、町ホームページにも掲載しております。

●マイナンバーカードを申請しませんか？

マイナンバーカードの夜間窓口では、事前にご予約いただいた方のみ、顔写真の撮影から申請手続きまでを無料で行います。

【来庁予約はこちらから】

スマートフォン：



電話：55・6563（平日8時30分～17時）

【必要書類】申請書と本人確認書類

- ・申請書の再交付を行っておりますが、再交付には本人確認書類が必要です。
- ・申請書があれば、スマートフォン・パソコンから申請ができます。詳しくはこちら



■お問合せ 住民生活課戸籍住民係 ☎55・6563（直通）

有料
広告

国民健康保険被保険者のみなさまへ

●ジェネリック医薬品をご存じですか？

ジェネリック医薬品（後発医薬品）とは、最初が開発された新薬（先発医薬品）の特許期間が切れたあとに、製造・販売される、新薬と同じ有効成分・効能・効果をもつ医薬品のことです。

安全性については、新薬と同様に薬事法に基づいて厳格に審査され、厚生労働省の認可、厚生労働大臣の承認を受けた安全なお薬だけが製造・販売されています。

●ジェネリック医薬品が普及していくと…

- ・年々増え続ける医療費の節減につながります。
- ・医療保険制度の安定（国保税増加の抑制）につながります。
- ・お薬代の自己負担が軽減する場合があります。

※ジェネリック医薬品に切り替えた場合でも、お薬代の自己負担がそれまでとあまり変わらない、または上がる可能性もあります。

●ジェネリック医薬品に関するお知らせをお送りしています

町の国保加入者に対し、ジェネリック医薬品に切り替えた場合のお薬代の差額をお知らせする「ジェネリック医薬品利用差額通知」をお送りしています。

●ジェネリック医薬品を希望される場合は…

まずは医師・薬剤師にご相談ください。

ただし、すべてのお薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。

また、症状や治療内容によっては、ジェネリック医薬品に切り替えることができない場合があります。

なお、医療機関等によっては取り扱いのないジェネリック医薬品もありますので、その場合も切り替える

ことができない場合があります。

医師や薬剤師にジェネリック医薬品への変更を言い出しづらい場合は、被保険者証の交付時に同封している「ジェネリック医薬品希望カード」を提示することで意思表示することができます。

治療の幅を広げる新薬と、身近な病気の医療費節減につながるジェネリック医薬品。いつでも安心して医療が受けられるように、上手に使い分け医療保険制度を守りましょう。

【ポリファーマシー】聞いたことがありますか？

「Poly（多くの）」+「Pharmacy（調剤）」の造語ですが、単に薬剤数が多いことではなく、薬剤が多いことにより、薬物有事事象（※）につながる状態や飲み間違い、残薬の発生につながる問題のことをいいます。さらに、不要な処方や過量重複投与などあらゆる不適正処方も含みます。

高齢になると、多くの薬を併用することが多くなります。薬物有害事象を引き起こさないためにも、お薬手帳を携帯し、医療機関を受診し薬局へ行くときには提示しましょう。副作用や誤飲の防止につながり、薬によるアレルギーに関する情報も医師や薬剤師に正確に伝えることができます。また、病院や薬局ごとにお薬手帳を分けずに1冊で管理しましょう。

※薬との因果関係がはっきりしないものを含め、薬を投与された患者さんに生じる好ましくない、あるいは意図しない副作用等が生じる出来事。

■お問合せ

住民生活課国保年金係 ☎55・6563（直通）

後期高齢者医療被保険者のみなさまへ

●保険料が年金から天引き（特別徴収）されている方へ

年金から徴収される保険料額は下記の通りとなります。

①4月・6月・8月

年金振込時に本年2月と同額を徴収済（仮徴収）

②10月・12月・2月

本年7月に決定した保険料の年額から、仮徴収した額を差し引いた残額を分割して徴収（本徴収）

※徴収額は、7月にお送りした保険料額納入通知書でご確認ください。

後期高齢者医療保険料
第4期 納付期限
令和5年10月31日（火）まで

■お問合せ

住民生活課国保年金係 ☎55・6563（直通）

困ったら 一人で悩まず 行政相談 ～10月16日（月）から22日（日）は「行政相談週間」です～

町民の皆様が、毎日の暮らしの中で、役所の仕事に関する苦情や意見・要望などがあった時に、身近な相談相手となるのは、行政相談委員（総務大臣が委嘱）です。

道路・河川、年金、医療保険、老人福祉、登記、労働基準、雇用保険、自動車検査・登録、窓口サービスなど、役所の仕事について、

- 苦情を直接申し出にくい
- 要望があるが、どこに話をしたらよいかわからない
- 制度や仕組みがわからない
- 困りごとがあるが、どこに相談してよいかわからない

相談は無料で、秘密は厳守します。

町では「行政移動相談所」及び「人権特設相談所」を同時に開設します。

大鰐町の行政相談委員は、下山 泰弥 氏です。（人権擁護委員兼務）

●日時 11月8日（水）10時～15時

●場所 居土多目的集会センター（居土字宮本53番地5）

■お問合せ

住民生活課戸籍住民係 ☎55・6563（直通）

総務省行政相談センターきくみみ青森

☎0570・090110

（〒030-0801 青森市新町2-4-25 青森合同庁舎4階）

大鰐町廃校校舎等利活用事業者の募集について

町では、統廃合により廃校となった小学校について、有効的に活用し、地域の振興を図るため、廃校施設の無償貸付をいたします。

●募集廃校施設名及び所在地

施設名 旧大鰐町立長峰小学校

所在地 青森県南津軽郡大鰐町大字長峰字沢田1番地

●廃校施設の概要

（1）校舎（平成3年3月建築）・コンクリート構造3階建て（延床面積2,153㎡）

（2）体育館（平成3年3月建築）・鉄骨構造（延床面積804㎡）

（3）グラウンド 8,014㎡

※グラウンドのみの貸与は行いません。

●募集受付期間 令和5年10月2日（月）から令和5年11月2日（木）

応募に係る詳しい内容については、町HPをご確認いただくか、大鰐町企画観光課管財係にお問合せください。



■お問合せ 企画観光課管財係 ☎55・6561（直通）

芝桜の植樹会が開催されます！

下記日程により芝桜の植樹会が開催されます。

当イベントは、観光誘客を図るため、町民の皆様と芝桜の植樹を行うイベントです。

●日 時 令和5年10月22日（日）午前9時

●場 所 旧やんちゃ広場
（大鰐町大字虹貝字清川113番地108）

●参 加 料 無料

●申込方法 電話のみ



■お問合せ ソレイユ（担当：永沢）

☎090・4813・4531

津軽南地区農業者の皆さんへ ～出会いへの第一歩！！応援します～

◆津軽南地区農業委員会連絡協議会（構成市町村：黒石市、平川市、藤崎町、田舎館村、大鰐町）では、「あおもり出会いサポートセンター」（以下、あおサポ）が運営するマッチングシステムを利用する津軽南地区の農業者の方に対し、登録料等の一部を助成します。この機会に是非ご利用ください。

◆助成金額

利用登録料、諸費用等に要する額 7,000円

（参考：あおサポ利用登録料 10,000円）

◆助成申込の方法等

1) 助成対象者

- ・あおサポへ利用登録料の支払いを済ませた方（登録期間は2年間有効）
- ・令和4年の農業収入に関し税申告をされている農業者の方及びその家族従事者の方

2) 助成の申込先

- ・各市町村の農業委員会事務局に、上記1）を確認できる書類を提出してください。（例：あおサポへの口座振込みが確認できるもの。税申告書の写し等。）
- ・申込の期限は、令和6年2月末日までといたします。

3) 申込定員 7名（大鰐町）

◆その他

5月末のあおサポへの利用登録者数588人、お見合い成立422組、交際成立158組と公表されております。定員に限りがございますので、助成申し込みを希望される方は、事前に農業委員会事務局までお問い合わせください。

詳細等は、町ホームページ、あおサポHPでご確認ください。



【あおさぽ HP】



【町ホームページ】



大鰐町ゆるキャラ
もやっぴー

■お問合せ 農業委員会 ☎55・6592（直通）

津軽南地区農業者の皆さんへ

出会いへの第一歩!! 応援します

津軽南地区農業委員会連絡協議会
農業後継者花嫁・花婿対策事業助成金

津軽南地区農業委員会連絡協議会（構成市町村：黒石市、平川市、藤崎町、田舎館村、大鰐町）では、あおもり出会いサポートセンター（以下「あおサポ」）が運営するマッチングシステムを利用する津軽南地区の農業者の方々に対し、登録料等の一部を助成します。この機会に是非ご利用ください。

10月は事業承継推進強化月間です

県では、事業承継に向けた機運醸成を図るため、毎年10月を「事業承継推進強化月間」に設定し、青森県事業承継ネットワークの各構成機関や市町村と連携しながら、事業承継の早期準備の必要性・重要性や同ネットワークのPRを集行的に行っています。

後継者のいないお店を引き継いで創業したい方や、具体的にどのように承継すればよいかわからない方など、まずはお気軽にご相談ください。

■お問合せ

青森県事業承継・引継ぎ支援センター（(公財) 21あおもり産業総合支援センター内）

☎017・723・1040

1歳の記念に広報紙へ写真を掲載しませんか

10月から12月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。

※わが家のめごこは、3か月に1回の掲載です。

次回の掲載は12月号です。

●対象

令和5年10月から12月に1歳の誕生日を迎える町内在住のお子さん

●掲載内容

お子さんの写真・氏名（ふりがな）・生年月日・住所（町内）

●応募方法

①お子さんの写真データ1枚

※写真データは5MB以内

②お子さんの氏名（ふりがな）、生年月日、性別、住所（町内も）、保護者氏名、連絡先、40文字以内のコメント（お子さんに向けてのひと言など）を記入

したもの

◎左記のものを11月10日（金）【※必着】までにご応募ください。Eメールでの応募の際は、件名に『子どもの写真』と記入をお願いします。

※なお、件名の記入や必要事項に漏れがあると掲載できない場合がありますので、ご注意ください。

わが家のめごこ

1歳の誕生日おめでとう

■お問合せ・ご応募先

総務課広報担当 ☎48・2111（代表）

E koho@town.owani.lg.jp

地域包括支援だより

「人生会議」

はじめませんか？



誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。

命の危険が迫った状態になると、4人のうち3人が、これからの医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。

そのため、元気なうちから人生の最終段階の医療やケアについて考えておきましょう。

人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）とは？

もしものときのために、あなたの大切にしていることや、どこでどのような医療やケアを望んでいるかなどについて、自分自身で考え、周囲の信頼する人たちと話し合い、共有することを「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」といいます。

これらの話し合いは、もしものときに、あなたの信頼する人が、あなたの代わりに医療やケアについて難しい決断をする場合に重要な助けとなります。

どんなことをすればいいの？

心身の状態に応じて意思は変化することがあります。次の4つのステップに沿って、何度でも繰り返し考え、話し合いましょう。

◆あなたが大切にしていることは何ですか？

⇒家族と過ごせる、仕事を続ける、趣味を続ける、人の迷惑にならない、など

◆あなたが信頼できる人は誰ですか？

⇒あなたの代わりにあなたの思いを伝えてくれる人（家族や医療従事者など）を決めて、あなたが大切にしている価値観や人生観を知ってもらいましょう。

◆信頼できる人や医療・ケアチームと話し合いましたか？

⇒現在の体のこと、病気のことなど、かかりつけ医に聞いてみましょう。家族や信頼できる人、医療・介護関係者と話し合ってみましょう。

◆話し合いの結果を大切な人たちに伝えて共有しましたか？

⇒話し合ったことは記録として残しましょう。希望や思いは、時間とともに変化し、健康状態によって変わる可能性があります。繰り返し考え、話し合い、大切な人たちに伝えて共有しましょう。

詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html



■お問合せ 保健福祉課地域包括支援係
☎55・6569（直通）

あなたの米粉料理を募集します

全国米粉普及協会（会長 高橋新治）では、食料安全保障の要である「お米」の消費拡大のために、「米粉」普及を目指しています。

農林水産省では、米・米粉消費拡大キャンペーンを行なっていますので、当事業は賛同して実施いたします。皆さんの考えた米粉料理、作って楽しい米粉料理動画を、Youtube でお送りください。

全国米粉普及協会で審査して、「米粉料理人」認定を行います。

ぜひ、応募してください!!

米粉は栄養価の高いヘルシー食材

アミノ酸バランスに優れた米の高い栄養価を、ごはんとは違う食べ方で摂取できるのが、米粉の魅力の一つ。また、小麦粉に比べて油の吸収率が低いので、揚げ物に使うと冷めてもサクサク感が長く続き、さっぱりヘルシーな仕上がりに。



豆腐チーズケーキ



カリッとモチモチ米粉のチヂミ

米粉を使用した料理の紹介

米粉を使用した料理を紹介しています。QR コードからレシピが見られます。

（米粉のケーキ、米粉のパン、米粉のクッキー、米粉の料理、米粉の和菓子など）



大鰐町長杯グラウンド・ゴルフ交歓大会結果

- 日時 令和5年9月15日（金）9時
- 場所 あじゃら常設グラウンド・ゴルフ場
- 参加者 174名
- 参加協会数 14協会
- ホール数 32ホール

- 最優秀選手 村本 謙一（黒石市）
- 男子の部優勝 村本 謙一（黒石市）
- 女子の部優勝 工藤 恭子（大鰐町）



※同打数同順位の場合は少数打数で、さらに年長者を上位と決定

男子の部

順位	氏名	団体名	打数	1 打	2 打	3 打
1	村本 謙一	黒石市	73	4	12	10
2	山田 博睦	鶴田町	81	2	10	15
3	二川原 一男	大鰐町	82	1	12	17
4	木村 淳	弘前市	82	1	12	14
5	太田 勉	平川市	87	1	11	15
6	一戸 光則	つがる市	87	1	9	17

女子の部

順位	氏名	団体名	打数	1 打	2 打	3 打
1	工藤 恭子	大鰐町	84	2	9	14
2	成田 和子	弘前市	85	2	10	12
3	岩谷 弘子	平川市	85	1	8	21
4	原田 則子	五所川原	85	0	13	17
5	黒石 美智	平川市	86	1	12	13
6	高木 トキ	黒石市	87	1	9	18

弘前地区環境整備センタープラザ棟エコ体験教室が開催されます

プロが教えるかんたん楽しい秋のエコクッキング教室

時間をうまく使って、簡単でエコな料理を作ってみませんか。

- 日時 10月14日（土）9時30分～12時
- 場所 弘前地区環境整備センタープラザ棟
- 講師 福士 るみ子さん（料理研究家・管理栄養士）
- 定員 小学生以上 10人

※小学生は参加者1人につき、保護者1人の同伴が必要です。

※保護者同伴の場合、2人1組で1食分調理して頂きます。

- メニュー 炊き込みチャーハン・味つけ枝豆・もやしのシャキシャキ炒め・プリンパフェ

- 参加料 無料

- 持ち物 エプロン・ふきん・三角巾・大皿（直径25cm程度）・お米0.5合

- 申込方法 往復はがきに教室名・住所・氏名・年齢・電話番号（日中連絡がとれるもの）をご記入の上、9月29日（金）必着にて、ご郵送ください。

※往復はがき1枚につき2人まで応募できます。応募多数の場合は抽選で決定し、10月6日（金）までに結果をお知らせします。詳細はプラザ棟ホームページをご覧ください。



第10回 ピアノミニコンサート in プラザ棟～秋のページをひらくと～

リユースピアノの連弾ハーモニーに耳を傾けてみませんか。

- 日時 10月22日（日）15時～16時
- 場所 弘前地区環境整備センタープラザ棟
- 演奏 ピアノデュオグループ Piece Harmony
- 入場料 無料
- 申込方法 事前の申込は不要です。
- 演奏曲 ジブリ映画の主題曲や心に残るメロディ全14曲

※詳細はプラザ棟ホームページをご覧ください。

- お問合せ・申込先 弘前地区環境整備センタープラザ棟

〒036・8314 弘前市大字町田字筒井6-2 ☎36・3388 受付時間は9時～16時

※月曜日は休館日です。月曜日が祝日の場合は翌日が休館日です。



有料
広告

目的別に見た歳出

令和4年度の町の一般会計と特別会計の決算がまとまり、監査意見が付されて9月に開かれた町議会第3回定例会に報告され、認定を受けました。そのあらましをお知らせします。

なお、決算書など詳しい資料は、町会計課で閲覧に供しています。

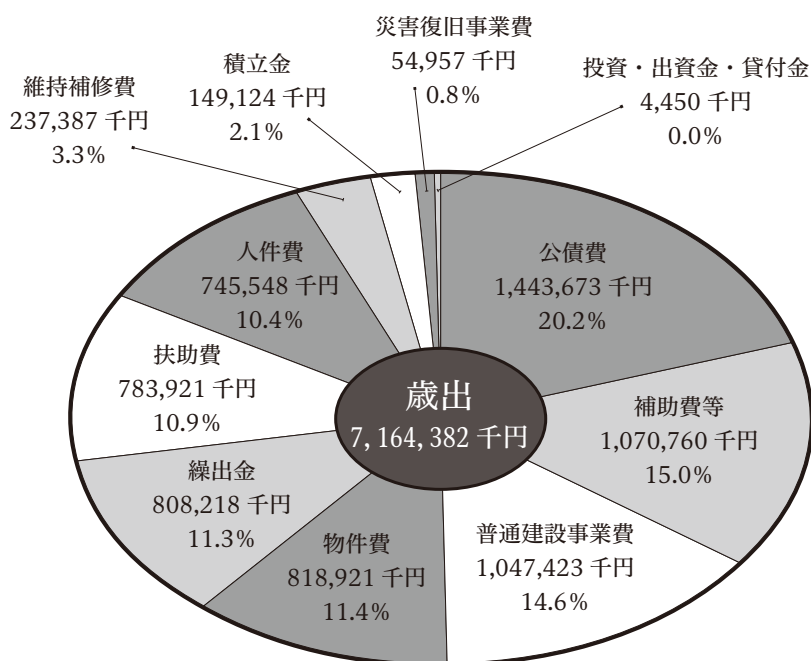
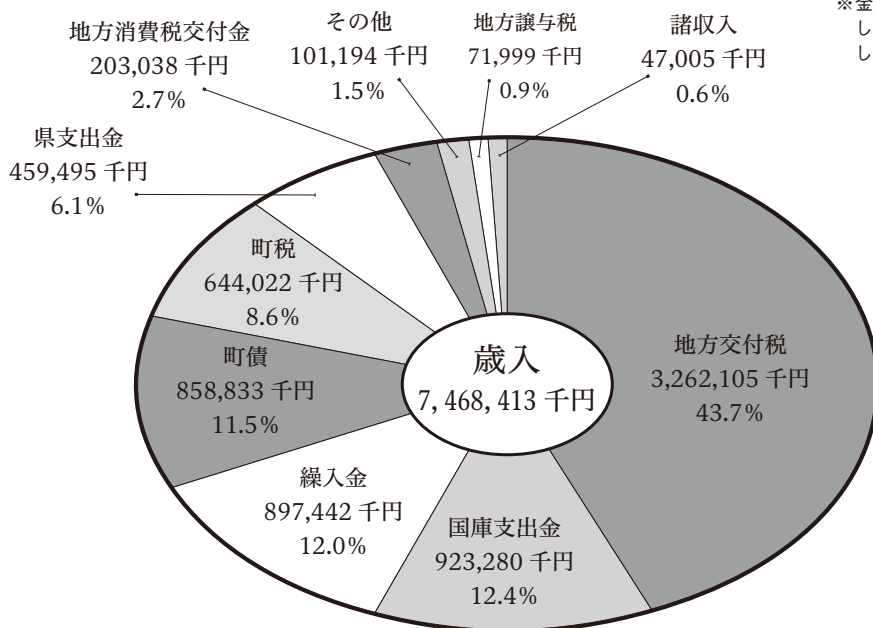
議会費	61,831千円	土木費	804,216千円
議員に係る報酬・手当・共済負担金	39,696千円	土木管理費	28,238千円
		道路橋梁費	460,295千円
		河川費	955千円
		都市計画費	307,863千円
		住宅費	6,865千円
総務費	825,506千円	消防費	263,448千円
総務管理費	625,890千円		
徴税費	91,168千円	教育費	343,838千円
戸籍住民基本台帳費	56,916千円	教育総務費	83,311千円
選挙費	50,112千円	小学校費	59,789千円
統計調査費	393千円	中学校費	58,069千円
監査委員費	1,027千円	社会教育費	32,652千円
		保健体育費	110,016千円
民生費	1,502,324千円	災害復旧費	54,957千円
社会福祉費	1,042,551千円	農林水産施設災害復旧費	32,237千円
児童福祉費	459,773千円	公共土木施設災害復旧費	22,720千円
衛生費	1,001,591千円	公債費	1,443,677千円
保健衛生費	889,720千円		
清掃費	111,871千円	諸支出金	324,045千円
労働費	3,374千円	公営企業費	323,619千円
		特別会計繰出金	426千円
農林水産業費	202,651千円		
農業費	171,549千円		
林業費	31,102千円		
商工費	332,924千円		

町づくりに71億6千万円

○歳入総額・・・7,468,413千円

●歳出総額・・・7,164,382千円

※金額は表示単位未満を端数処理しているため、内訳と合計が一致しない場合があります



■特別・企業会計決算

(単位：千円)

	収入済額	支出済額	差引額
国民健康保険	1,260,981	1,221,437	39,544
後期高齢者医療	135,049	131,293	3,756
介護保険	1,590,005	1,535,851	54,154
温泉事業	16,526	14,963	1,563
簡易水道事業	20,882	19,753	1,129

(単位：千円)

	収入済額	支出済額	差引額
公共下水道事業	418,567	417,732	835
大鰐財産区	25,629	24,181	1,448
蔵館財産区	20,255	20,064	191

(単位：千円・税抜)

	総収益	総費用	純損益
病院事業	601,966	620,082	18,116
久吉ダム水道 企業団水道事業	378,312	307,853	70,459

令和5年度全国統一防火標語

火を消して

不安を消して つなぐ未来



秋の火災予防運動

『火を消して 不安を消して つなぐ未来』

10月16日（月）から22日（日）までの1週間、県下一斉に「秋の火災予防運動」が実施されます。この季節は日増しに寒くなり、火を取り扱う機会が多くなります。暖房器具の点検はお済みですか？ちょっとした油断や火の取り扱いの不注意が火災の原因になることがあります。

ご自宅の住宅用火災報知機は正常に作動していますか？尊い命や貴重な財産を守るため、いざという時に機能するか確認してみましょう。まだ取り付けていない人は早めの設置をお願いします。

また、「住宅防火 いのちを守る10のポイント（4つの習慣・6つの対策）」を実行し、自分の家は自分で守るよう心掛けましょう。

○4つの習慣

- ①寝たばこは絶対にしない、させない。
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ③こんろを使うときは火のそばを離れない。
- ④コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

○6つの対策

- ①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- ②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- ③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
- ④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- ⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- ⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

■お問合せ

弘前消防本部予防課 ☎32・5104
または最寄りの消防署、分署へ

親子見学会を開催します！

弘前地区消防事務組合では、11月9日の「119番の日」にちなみ、親子で119番通報の受信から消防車両出動までの流れを見学していただき、消防に対する正しい理解と認識を深めるとともに防火意識の高揚を図ることを目的に、消防指令センター親子見学会を下記のとおり開催します。

▽と き 11月5日（日）

▽時 間 ①9時～9時50分

②10時～10時50分

▽ところ 弘前消防本部4階消防指令センター
（弘前市本町2-1）

▽対 象 小学生とその保護者各回5組
（事前申込制 / 先着順）

▽申込方法 10月23日8時30分以降に電話で弘前消防本部通信指令課まで申し込みを。詳細については、弘前消防ホームページで確認を。

■お問合せ・申込先

消防本部通信指令課 ☎32・5101



©消防本部「防災くん」／弘前地区消防事務組合



■大鰐町内の火災・救急発生状況（令和5年8月末累計）

	令和5年	前年比
火 災	2件	+1件
救 急	300件	+12件



特殊詐欺に注意しよう！

◇青森県内の令和5年8月末現在の特殊詐欺発生状況

認知件数 62件（前年比+40件）

被害金額 約1億8,430万円（前年比+1億3,450万円）

未然防止件数 66件（前年比+30件）

8月末までに認知した62件のうち、37件が架空料金請求詐欺でした。

今回は架空料金請求詐欺のうち、犯罪になると嘘をつき、宅配便で現金を送らせる「トラブル解決」の手口をご紹介します。

【架空料金請求詐欺】

●トラブル解決名目

実在する住宅・不動産会社等の社員を名乗る者から、

「グループホームに入居する権利が当選しました。」

「入居しないのであれば、他の人に権利を譲ってください。」という電話があり、了承すると・・・

別の会社や弁護士をかたる者から電話がきて、

「名義貸しは犯罪になります。」

「500万円払えば解決することができます。」

「財産を差し押さえられる前に私が預かります。」

「宅配便で現金を送ってください。」

などと言われ、多額の現金をだまし取られる手口です。

「犯罪になる」「裁判になる」「お金を送って」 は詐欺のキーワード！要注意！！

携帯電話を使用しながらATMを操作している方や、コンビニで多額の電子マネーを購入しようとしている方を見かけたら、「詐欺じゃないですか」と声掛けをお願いします。

身に覚えのないお金の話は一人に対応せず、家族や知人、最寄りの警察署または交番・駐在所にご相談ください。

警察相談専用電話☎#9110または017・735・9110

鍵掛けの励行による窃盗被害防止

◇青森県内の令和5年8月末現在の被害認知状況

侵入窃盗 203件（前年比+39件）

自転車盗 402件（前年比+214件）

車上ねらい 128件（前年比-1件）

上記の被害は、7割以上が鍵を掛けていない状態で

被害に遭っており、令和5年は、「侵入窃盗」、「自転車盗」の認知件数が増加しています。

犯人は鍵の掛かっていない建物や自転車、車を狙っています。また、犯人と鉢合わせになることで、強盗などの凶悪犯罪に発展する可能性もあります。

鍵掛けは簡単にできる防犯対策です。

鍵掛けを習慣化しましょう！

警察相談専用電話☎#9110または017・735・9110

高齢者講習等の早期受講についてのお願い

運転免許証の有効期間満了時に70歳以上になる方は、運転免許証更新手続きの前に高齢者講習等を受講しなければなりません。

○70～74歳の方 ⇒ ・高齢者講習

○75歳以上の方 ⇒ ・運転技能検査（対象者のみ）

・認知機能検査

・高齢者講習

高齢者講習等の該当の方には、有効期間満了日の約6か月前までに「運転免許証の更新に伴う通知書（はがき）」を送付しています。

通知書を確認し、希望する実施場所へ直接電話予約をしてください。

●運転免許センターにおける高齢者講習の実施について

日 時 毎月第2、第4金曜日（祝日を除く）

1日2回 1回目：9時30分～

2回目：14時～

場 所 青森県運転免許センター

青森県青森市大字三内字丸山198番地4

予約方法 下記まで電話でお申し込みください。

（大変混雑しており、予約は数か月先になります。）

■お問合せ 青森県警察本部交通部運転免許課
（青森県運転免許センター内）

受付時間 9時～16時まで

電話番号 017・782・0081（代表）

担 当 高齢運転者等支援係

●高齢者講習等受講後のお願い

運転技能検査や認知機能検査、高齢者講習を受験・受講すると、

・運転技能検査受験結果証明書（対象者のみ）

・認知機能検査結果通知書

・高齢者講習修了証明書

が交付されます。

これらは、運転免許証更新時に必要となりますので、更新手続きを行うまで大切に保管してください。



10月のおすすめレシピは・・・

里芋と鶏肉の 味噌汁



材料名	分量（4人分）
里芋	4個（中サイズ）
お湯（下茹で用）	適量
大根	60g
にんじん	60g
長ねぎ	40g
鶏もも肉	200g
こんにゃく	120g
ごま油	大さじ1
だし汁	400ml
みそ	大さじ1と2/3
小ねぎ	少々

◆作り方

- ①里芋は水洗いした後に乾かし、皮をむく。
1～2分下茹でした後、水で洗ってぬめりをとる。
※水煮の場合はそのまま使用。
- ②大根、にんじんは半月切りまたはいちよう切りにする。
長ねぎは斜め切りにする。
鶏もも肉は一口大に切る。
こんにゃくはスプーンで小さめの一口大にちぎる。
- ③鍋にごま油を熱し、①と②を入れて炒める。
- ④全体に油が回ったら、だし汁を入れてアクをとりながら煮る。
- ⑤野菜がやわらかくなったら火を止める。
- ⑥みそを溶かして、器に盛る。
- ⑦お好みで小ねぎを散らす。

★気になる栄養価（1人分）は？

エネルギー /189kcal、たんぱく質 /10.7g、脂質 /10.7g、炭水化物 /12.1g、食塩 /1.2g

★レシピのポイント！

里芋を下処理せずに調理すると、ぬめりによって吹きこぼれたり、汁に粘り気が出たりします。汁物や煮物に使用したり、粘り気を出したくない場合は、塩もみや下茹でをしてぬめりを取りましょう。

■レシピに関するお問合せ

保健福祉課健康推進係 ☎55・7149（直通）

※レシピは町 HP にも掲載しています。

大鰐町民は野菜の摂取量が少ないです。
食事に野菜をたくさん取り入れましょう！



す。
里芋はいも類の中でも特にカリウムが多く、エネルギーが低めです。カリウムは体内の余分なナトリウムの排泄を促し、血圧を下げるはたらきがあります。また、ぬめりに含まれるガラクトタンには、消化を促進して腸内を整えるはたらきがあります。

「今月の栄養コラム」



行事予報



10 月

■天候等による日程の変更にご注意ください

29 日 (日) ○第 3 回浜圭介杯争奪紅白歌合戦 (大鰐町地域交流センター「鰐 come」)

11 月

1 日 (水)・2 日 (木)・3 日 (金) ○おおわに文化祭美術展 (町中央公民館)

12 日 (日) ○おおわに文化祭芸能発表会 (大鰐町地域交流センター「鰐 come」)

25 日 (土)・26 日 (日) ○まるごと大鰐 秋の感謝祭 (大鰐町地域交流センター「鰐 come」)

◎『広報おおわに』に掲載の各種催しについて

本誌に掲載した各種催し・教室等について、新型コロナウイルス等の感染拡大防止の観点から、中止や延期、変更となる場合がありますので、ご了承ください。

■8月受付分

戸籍の窓口

(※順不同、敬称略。大鰐町に届け出し、希望された方のみ掲載しています。)

おくやみもうします

亡くなった人(年齢)地区名

- ・神 チサ子 (75歳) 三ツ目内 A
- ・木 田 忠 晴 (85歳) 三ツ目内 B
- ・幸 山 光 男 (84歳) 蔵館 5 A
- ・木 田 忠 則 (68歳) 三ツ目内 B
- ・小 野 ツ セ (102歳) 蔵館 3
- ・神 正 則 (86歳) 虹貝新田
- ・八木澤 達 夫 (83歳) 島田
- ・石 郷 敏 幸 (71歳) 九十九森
- ・幸 山 キミエ (92歳) 高野新田
- ・最 上 テ ル (91歳) 八幡館



大鰐町の人口と世帯数

令和 5 年 8 月末日現在

人 口	8,549人
前月比	-4人
男	3,935人
女	4,614人
平均年齢	57.0歳
世帯数	4,096世帯
前月比	+8世帯

- ・山 中 一 雄 (77歳) 居土
- ・山 中 政 雄 (71歳) 高野新田
- ・外 崎 信 雄 (70歳) 居土
- ・溝 江 初 子 (74歳) 大鰐 1
- ・藤 田 寛 (96歳) 蔵館 1

令和5年度津軽地域障害者就職面接会のご案内

弘前公共職業安定所では、障害をお持ちの方を対象とした障害者就職面接会を開催します。面接会には、障害者雇用を考えている事業所が多数参加します。

参加を希望される方は事前にお申込みができますので、弘前公共職業安定所までお問い合わせください。

●日時 10月23日(月) 13時～15時30分
(12時30分受付開始)

●場所 アートホテル弘前シティ(弘前市大町1-1-2 3階プレミアホール)
弘前公共職業安定所 専門援助部門
☎38・8609(45#)

「看護のお仕事移動相談」を開催しています

青森県ナースセンターでは無料職業紹介事業として看護職の相談員が出向いて、看護職の皆様のお仕事探しをサポートしています。お気軽にお越しください。

●開催日 令和5年10月16日(月)、11月20日(月)、12月18日(月)

令和6年1月15日(月)、2月19日(月)、3月18日(月)

●時間 13時～16時まで随時受付

●場所 弘前市就労支援センター(ヒロロ)※青森県ナースセンター(青森市)では月曜日から金曜日の9時～16時まで、来所・電話・メール等で随時、相談を受け付けています。どうぞご利用ください。

公益社団法人青森県看護協会 青森県ナースセンター

☎017・723・4580

F017・735・3836

E aomori@nurse-center.net

第2回青森県民公開講座の開催について

第2回青森県民公開講座が左記日程で開催されます。患者さんやご家族だけでなく、関心がある方どなたでも参加可能です。

●日時 10月26日(木) 15時～16時

●場所 弘前大学医学部コミュニケーションセンター

②弘前大学医学部附属病院「脳卒中・心臓病等総合支援センター」内で実況中継

③ZOOMにて配信

●内容

①「脳卒中を予防するお食事」

講師 管理栄養士 嶋崎 真樹子

②「脳卒中とお薬の付き合い方」

講師 薬剤師 大久保 翔

③個別相談会(希望者のみ)

メールやお電話でもご相談できます

●参加費 参加・相談ともに無料

●定員 現地開催・ZOOM 各100名

●申込方法

①ホームページの「県民公開講座参加申し込み」から

②2次元バーコード内登録フォームから

③お電話、メールにて申し込み



問 青森県・弘前大学医学部附属病院
脳卒中・心臓病等総合支援センター

☎39・5459

E noshincenter@hirosaki-u.ac.jp

宝くじ助成金で整備しました

(一財)自治総合センターの令和5年度一般コミュニティ助成事業(宝くじ助成金)により、次の団体に必要な備品を整備しました。

●助成団体

【唐牛区会】

・助成金額:2,300,000円

・整備備品:ルームエアコン 3台、液晶テレビ 1台、テレビ台 1台、ガス給湯器 1台、半纏 20着、半纏帯 20尾

唐牛区会に整備した備品



【森山区会】

・助成金額:2,100,000円

・整備備品:ルームエアコン 2台、液晶テレビ 1台、冷蔵庫 1台、石油ストーブ 2台、テーブル 25脚

※この助成金は、宝くじ事業の収入を財源に(一財)自治総合センターから交付されるもので、コミュニティ組織の活動に直接必要な設備を整備するための助成制度です。

森山区会に整備した備品



問 企画観光課企画係

☎55・6561



津軽広域連合だより

津軽広域連合は、弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・板柳町・大鰐町・田舎館村・西目屋村の8市町村により、要介護認定審査・障害支援区分判定審査のほか、各種ソフト事業などのさまざまな事務事業を共同で実施する特別地方公共団体です。



ふじさき秋まつり

藤崎町の二大特産品である「りんご」と「米」をテーマとした収穫感謝祭です。当日制作するジャンボアップルパイとジャンボおにぎりは大きさにびっくりすること間違いなし！来場者には無料で配布します！その他農産物などの販売、健康指導、中学生による吹奏楽演奏会や幼稚園児のお遊戯発表会など楽しいイベント満載です。ぜひこの機会に藤崎町の食と文化にふれてみませんか。

●日時 11月18日（土）、19日（日）

●場所 スポーツプラザ藤崎及びその周辺

■お問合せ 同実行委員会事務局（藤崎町経営戦略課）

☎88・8258



（藤崎町）

まると大鰐秋の感謝祭

大鰐でしか「買えない」「味わえない」、希少性をコンセプトに「大鰐ならではの」ものを一堂に集めた、令和元年誕生の新しいイベントです。

地元グルメを提供する

ブース、生産者が農産物等を販売するブース、手芸品等を製作体験できるワークショップブースなど「大鰐のまると」を集めた大鰐町の魅力が満載！

第1回開催時に誕生した「大鰐焼き」のふるまいも実施します。

●日時 11月25日（土）、26日（日）

10時～15時

●場所 大鰐町地域交流センター「鰐 come」

■お問合せ 同実行委員会事務局（大鰐町企画観光課）

☎55・6561（直通）



（大鰐町）

市町村イベントカレンダー

とき	イベント名	内容	お問合せ
開催中～ 12/14	ふじめぐり総選挙2023	対象店舗のレシートを集めてお気に入りの店舗に投票。抽選で豪華賞品が当たります。	藤崎町経営戦略課 ☎88・8258
9/26～11/30	郷土文学館スポット企画展「生誕120年 サトウハチロー展」	今年生誕120年、没後50年を迎える詩人・サトウハチローの業績を紹介します。	弘前市立郷土文学館 ☎37・5505
10/7～11/26	特別企画展2 THE新版画～版元・渡邊庄三郎の挑戦～	渡邊庄三郎による新版画の挑戦の軌跡とモダンな精神に彩られた表現の魅力を紹介します。	弘前市立博物館 ☎35・0700
10/13～10/15	津軽の食と産業まつり（弘前市）	津軽の「食」「産業」をテーマに地元生産品などを紹介。野外ステージや催しも行います。	同運営協議会事務局 ☎33・4111
10/14	ひらかわ文化財講座	ゲストスピーカーを招き、縄文時代から現代までの北東北に関する講演会を行います。	平川市郷土資料館 ☎44・1221
10/15、11/18	ひらかをぶらり駅前マーケット	平川駅前周辺にフード・クラフト販売・ワークショップなど色々なお店が出没します。	ふれあいタウンひらか ☎090・6454・8910
10/20～11/5	中野もみじ山ライトアップ	紅葉の景勝地として知られる中野もみじ山。見頃は10月下旬～11月上旬です。	黒石市観光課 ☎52・2111
10/21	梅津碧ソプラノ・リサイタル	声楽家 梅津碧によるオペラの世界をお楽しみください。	平川市文化ホール ☎44・1221
10/21～10/22	全国伝統こけし工人フェスティバル（黒石市）	全国の伝統こけし工人が一堂に集結。特徴ある全国各地のこけしの展示即売会を行います。	津軽こけし館 ☎54・8181
10/27～11/5	弘前城菊と紅葉まつり	会場内をフラワーアートで華やかに彩るほか、紅葉の特別ライトアップを行います。	弘前市立観光館 ☎37・5501
10月下旬	碓ヶ関 紅葉と収穫祭	道の駅いかりがせきで開催。平川市碓ヶ関の秋の味覚を楽しむことができます。	平川市観光協会 ☎40・2231
10月下旬・11月上旬	猿賀公園紅葉まつり	紅葉が見頃を迎える猿賀公園で期間中に様々なイベントを行います。	平川市観光協会 ☎40・2231
10月下旬・11月下旬	ひらかわトラックマーケット	食ラボひらかわと平川市文化センター駐車場にて、地元の旬の農産物等を販売する朝市を開催します。	平川市農林課 ☎44・1111
11/3～11/5	ひろさきりんご収穫祭	りんごの収穫期を迎えたりんご公園で、各種イベントを実施します。	弘前市りんご課 ☎40・2354
11/9～11/11	鉄道模型店	鉄道模型展示を行います。	平川市郷土資料館 ☎44・1221
11/10～11/27	平川市民文化祭	平川市文化センターにて、市民の作品展示・舞台発表などを行います。	同実行委員会 ☎44・1221
11月中旬～令和6年2月中旬	ひらかわイルミネーションプロムナード	中央公園等をイルミネーションでライトアップ。台湾提灯や竹キャンドルもご覧になれます。	平川市商工観光課 ☎44・1111
11/18～11/19	黒石りんごまつり	りんごの即売会や黒石ならではのふるさと物産展などが開催されます。	同実行委員会事務局 ☎52・2111
11/18～11/19	第11回ふじさき秋まつり	藤崎町の二大特産品である「りんご」と「米」の収穫感謝祭です。楽しいイベントが満載です。	同実行委員会事務局 ☎88・8258
11/18～11/19	収穫感謝祭&シクラメン市	シクラメン等の花々を展示販売します。会場周辺の出店では軽食等も販売します。	田舎館村企画観光課 ☎58・2111
12/1～2/28（予定）	ひろはこ冬の観光キャンペーン	弘前と函館が「雪ミク」とコラボして2市共同で冬季観光キャンペーンを実施します。	弘前市国際広域観光課 ☎40・7017

3歳児健診 むし歯のない子

9月の3歳児健診でむし歯が無かった
子どもたちを紹介します！



山内 梨杏ちゃん
(虹貝新田)



石塚 柊くん
(大鰐6A)



山中 風花ちゃん
(居土)



成田 蘭ちゃん
(宿川原)



下山 千尋ちゃん
(島田)



鳴海 愛ちゃん
(大鰐1)

●広報おおわには町のホームページでも公開しています 【URL】 <http://www.town.owani.lg.jp/>



今月の話題

普段何気なく歩いている相生橋。私たちには見慣れた橋ですが、以前、町外在住の大学生が「大鰐はカラフルな橋が多くて特徴的だ」と話していました。

見慣れた景色も視点を変えると面白い発見があるのかもしれません。

広報おおわに No.741
令和5年10月号

発行 大鰐町
編集 大鰐町総務課

〒038-0292
青森県南津軽郡大鰐町大字大鰐字
羽黒館5番地3
TEL 48・2111
FAX 47・6742
H P <http://www.town.owani.lg.jp/>
発行部数 4,000部



わになって みんなボカボカ 大鰐町



大鰐町HPへ
ジャンプします